

報 告

慶良間諸島渡嘉敷島渡嘉志久湾の魚類相：144 種の追加記録

Fish Fauna of Tokashiku Bay, Tokashiki, the Kerama Islands,
Okinawa Prefecture: Additional Records of 144 Species田中翔大¹⁾・下光利明²⁾・瀬能 宏³⁾・宮崎佑介⁴⁾Shota TANAKA¹⁾, Toshiaki SHITAMITSU²⁾, Hiroshi SENOU³⁾ & Yusuke MIYAZAKI⁴⁾**Key words:** Ryukyu Islands, *Trachipterus trachipterus*, *Zu cristatus*, *Macroramphosus japonicas*, *Nomeus gronovii*

はじめに

慶良間諸島は沖縄県那覇市の西方約 40 km の地点に位置し、渡嘉敷島（沖縄県島尻郡渡嘉敷村）、座間味島（沖縄県座間味村、以下同じ）、阿嘉島や慶良間島など、30 余りの島々からなる（Fig. 1）。慶良間諸島の海域に生息する魚類およびサンゴ類は種数と存在量ともに豊かであり（田村・斉藤, 1974）、生物多様性の高いサンゴ礁生態系が発達する。このような背景から、2005 年 11 月には、渡嘉敷島西部の海域 120 ha、及び座間味島と阿嘉島との間の無人島を含む海域 233 ha が「慶良間諸島海域」としてラムサール条約の登録湿地となった。さらにその後、国内では稀な亜熱帯地域における多島海景観を有することも理由に、2014 年 3 月 5 日に慶良間諸島のほぼ全域が「慶良間諸島国立公園」として指定された（環境省, 2014）。

一方で、その根拠となる魚類相についてはまとまった調査研究は充分とはいえない。同海域において最初に魚類相を網羅的に調査・報告し

たのは岡村（1974）で、渡嘉敷島など慶良間諸島の 7 地点を対象に 3 日間にわたる調査に基づき、151 種の魚類を報告した。また、島田（1996）は、屋嘉比島周辺海域において魚類相調査を行い、256 種の魚類を報告したが、水中ビデオを用いた観察による調査方法の制約を受け、小型種の記録が漏れているほか、属までの同定にとどまっているものも少なくない。慶良間諸島の中で最も大きい渡嘉敷島では、その西岸に位置する渡嘉志久湾において、東京水産大学（2004 年からは東京海洋大学）水産生物研究会によって 1998 年より継続的な魚類相調査が実施されてきた。渡井ほか（2009）は、同海域からの魚類相について、2008 年までに記録された標本と写真資料に基づき、15 目 66 科 411 種を報告した。しかし、その後も慶良間諸島からはオオスジソイワシ *Hypoatherina barnesi* Schultz in Schults *et al.* 1953、ヒメトゲウミヤッコ *Halicampus spinirostris* (Dawson and Allen, 1981)、マツダヤ

¹⁾ 東京海洋大学海洋生命科学部海洋生物資源学科
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
Department of Marine Biosciences, School of Marine Life
Science, Tokyo University of Marine Science and Technology
4-5-7 Konan, Minato, Tokyo 108-8477, Japan
田中翔大 : shotana0326@gmail.com

²⁾ 国立研究開発法人水産研究・教育機構開発調査センター
〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 棟15 階
Marine Fisheries Research and Development Center,
Japan Fisheries Research and Education Agency

15F Queen's Tower B, 2-3-3 Minatomirai, Nishi-ku,
Yokohama, 220-6115, Japan

³⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara, 250-0031, Japan

⁴⁾ 白梅学園短期大学保育科
〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830
Department of Child Education and Welfare, Shiraume
Gakuen College
1-830 Ogawa-chou, Kodaira-shi, Tokyo 187-8570, Japan

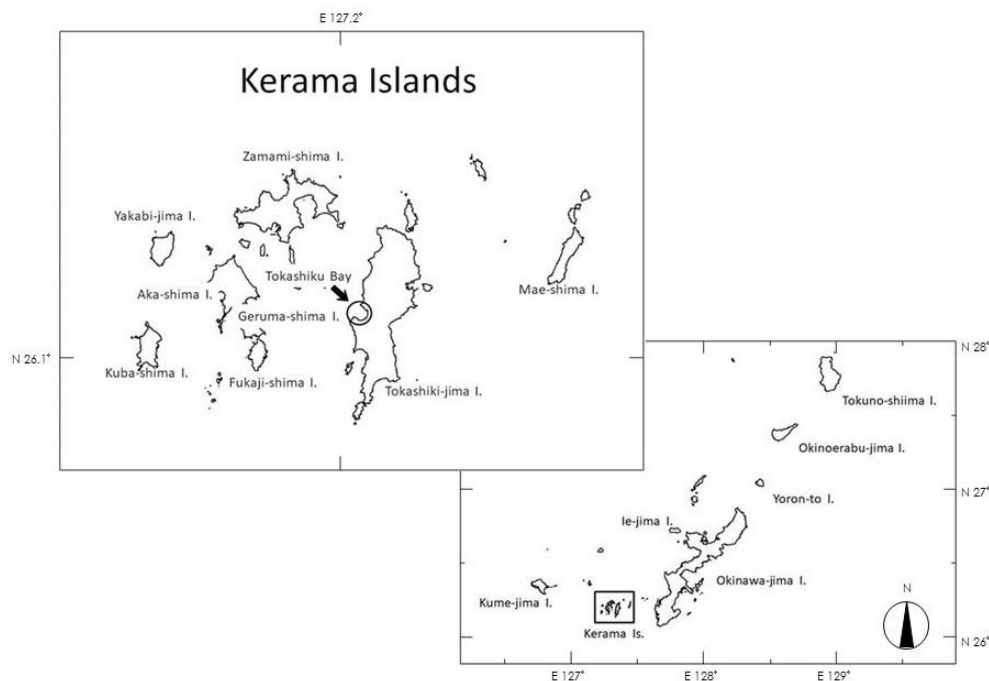


Fig. 1. The location of Tokashiku Bay in the Kerama Islands.

図 1. 渡嘉志久湾概略.

ツシハゼ *Vanderhorstia wayag* Allen and Erdmann, 2012 などの日本初記録となった種（松沼ほか, 2013; 佐々木・木村, 2014; 鈴木ほか, 2015）が報告されている。さらに、渡井ほか（2009）においてスカシテンジクダイ *Rhabdamia gracilis* (Bleeker, 1856) として報告された個体がシンゲツスカシテンジクダイ *R. novaluna* Yoshida, Mabuchi and Motomura, 2018 として新種記載されたように（Yoshida *et al.*, 2019; 補足の項参照）、近年になっても新発見が続々と報告されている。

東京海洋大学水産生物研究会では、2009 年以降も継続的に渡嘉敷島渡嘉志久湾において魚類相の調査を継続して実施しており、2019 年 3 月までに 144 種の魚類が新たに記録された。本稿では、渡井ほか（2009）で記録されていなかったこれら 144 種を追加で報告するとともに、前報では標準和名が与えられていなかった種、誤同定があった個体、並びに写真資料のみに基づく報告となっていた 8 種について標本に基づき再報告する。

調査地および調査方法

調査地である渡嘉志久湾は慶良間諸島渡嘉敷島の西岸に位置し、気候区分は亜熱帯に属する。湾内は全体として遠浅であるが、湾中心部より沖合にかけて急深となる。湾中心部はサンゴ礁がみられるが、南側に近づくにつれて深度が浅くなり瓦礫サンゴが広がるようになり、南岸は広い潮間

帯を形成している。東側は長さ約 600 m の砂浜が広がっている。北部は南部に比べて深く、砂礫と瓦礫サンゴが混ざった底質に巨岩が点在する。湾内沖側両端にはリーフエッジが形成されており、高密度で発達したサンゴ礁が観察される。

調査は 2009 年から 2019 年にかけて、湾を囲む岬の両端を結んだ直線の内側で行った。魚類の採集はスキンドビングによる潜水とタイドプールに立ち入る形で実施し、たも（網目 2 × 2 mm 程度）と投網（21 節、900 目）を用いて行い、釣りも行った。また、水中写真による記録も行った。採集した魚類は 10% 中性ホルマリン溶液で固定した後、70% エタノールに置換し、保存した。本稿による報告に用いた標本および画像は、神奈川県立生命の星・地球博物館の魚類標本資料（KPM-NI）および魚類写真資料データベース（KPM-NR）として登録・保管されている。なお、同館における魚類の標本番号は電子台帳上においてゼロが付加された 7 桁の数字が使われているが、ここでは標本番号として本質的な有効数字で表した。

種の同定、標準和名、科の配列は主に中坊（2013）に従ったが、中坊（2013）に十分な記述のないサギフエ科とハゼ科の一部の魚種については、Miyazaki *et al.* (2004)、Greenfield *et al.* (2014)、鈴木・渋谷（2004）も参照した。なお、シズクイソハゼは Greenfield *et al.* (2014) においては、「シズクイソハゼ」の標準和名が提唱されているが、「Shizuki」は「Shizuku」の誤植であ

Table 1. The number of species and species allocation to each family occurred in Tokashiku Bay

表 1. 渡嘉志久湾における優先科魚類および種数

Family	No. of Species(% in Total)
Gobiidae	62 (11.2)
Pomacentridae	60 (10.8)
Labridae	52 (9.4)
Blenniidae	34 (6.1)
Chaetodontidae	27 (4.9)
Apogonidae	25 (4.5)
Scorpaenidae	17 (3.1)
Muraenidae	16 (2.9)
Serranidae	14 (2.5)
Acanthuridae	13 (2.3)
Carangidae	12 (2.2)
Balistidae	12 (2.2)
Scaridae	11 (2.0)
Holocentridae	10 (1.8)
Syngnathidae	9 (1.6)
Pomacanthidae	9 (1.6)
Other 65 Families	172 (31.0)
Total	555 (100)

ると報じられているため（日本魚類学会, 2014）、これに従った。種は学名のアルファベット順に配置し、未同定種は各科の末尾に表した。種の一般的な分布記録は中坊（2013）に従った。また、特筆すべき情報がある場合は備考に示した。

結果と考察

本調査により、新たに 144 種が確認され、渡嘉志久湾産の魚類は合計で 18 目 81 科 555 種および若干の未同定種の記録として整理された（Table 1）。144 種の中には、琉球列島初記録 3 種（テングイハタ *Trachipterus trachipterus*、ダイコクサギフエ *Macroramphosus japonicus*、エボシダイ *Nomeus gronovii*）および標本に基づく初記録 1 種（ユキフリソデウオ *Zu cristatus*）が含まれる。今回新たに確認された種について、以下に目録として記述する。また、前報で報告したもののうち和名が与えられたものと、誤同定があったもの並びに標本未採集のまま報告したもののうち 8 種の標本が得られたので、目録末尾に補足として報告する。

なお、新たに記録された 144 種の魚類のうち、63 種は水中写真によるものである。このことから、防水防塵かつ高解像度の記録を行えるデジタルカメラの開発と普及が本研究結果に寄与していると考えられる。また、近年は科レベルに絞った魚類の調査が各年に行われるようになり、分類群ごとに対する採捕努力量の増大も、記録種数の増加に寄与しているかもしれない。しかし、渡嘉敷島と地理的に近い伊江島からは 889 種の沿岸

性魚類が記録されていること（Senou *et al.*, 2006）を考慮すると、本海域における魚類相は十分に解明できていないことも推察される。

渡嘉志久湾産追加魚類目録

メジロザメ目 Order Carcharhiniiformes

メジロザメ科 Family Carcharhinidae

ネムリブカ *Triaenodon obesus* (Rüppell, 1837)
KPM-NR 197309

トビエイ目 Order Myliobatiformes

トビエイ科 Family Myliobatidae

マダラトビエイ *Aetobatus narinari* (Euphrasen, 1790)
KPM-NR 197300

アカエイ科 Family Dasyatidae

ヤッコエイ *Neotrygon kuhlii* (Müller and Henle, 1841)
KPM-NR 197275

カライワシ目 Order Elopiformes

カライワシ科 Family Elopidae

カライワシ *Elops hawaiiensis* Regan, 1909
KPM-NR 44777

ウナギ目 Order Anguilliformes

ウツボ科 Family Muraenidae

ゼブラウツボ *Gymnomuraena zebra* (Shaw, 1797)
KPM-NR 44789

ゴマウツボ *Gymnothorax flavimarginatus* (Rüppell, 1830)
KPM-NR 44793

ドクウツボ *Gymnothorax javanicus* (Bleeker, 1859)
KPM-NR 44804

シズクキカイウツボ *Uropterygius marmoratus* (Lacepède, 1803)
KPM-NI 51897

Uropterygius cf. polyspilus

KPM-NR 197271

備考：本個体は、色彩や後鼻腔の形状から *Uropterygius polyspilus* (Regan, 1919) であると思われるが、現在本種は日本からの標本が得られて



Fig. 2. *Uropterygius* cf. *polyspilus*, KPM-NR 197271. Photographed by A. Mori.

図 2. *Uropterygius* cf. *polyspilus*, KPM-NR 197271. 森 朗遥撮影。

いない (和田・本村, 2019) (Fig. 2)。

ウミヘビ科 Family Ophichthidae

ソラウミヘビ *Leiuranus semicinctus* (Lay and Bonnett, 1839)

KPM-NI 29326

ミナミミズアナゴ *Muraenichthys schultzei* Bleeker, 1857

KPM-NI 51898

モヨウモンガラドオシ *Myrichthys maculosus* (Cuvier, 1816)

KPM-NI 51899

アナゴ科 Family Congridae

キリアナゴ *Conger cinereus* Rüppell, 1830

KPM-NI 51900

アカマンボウ目 Order Lampridiformes

フリソデウオ科 Family Trachipteridae

テンガイハタ *Trachipterus trachipterus* (Gmelin, 1789)

KPM-NI 52077

備考：国内では千葉県～土佐湾の太平洋沿岸に分布するが (林・瀬能, 2013)、琉球列島からの記録は無く、本標本は琉球列島からの初記録となる (Fig. 3)。

ユキフリソデウオ *Zu cristatus* (Bonelli, 1819)

KPM-NI 51901

備考：国内では北海道日本海・太平洋沿岸、青森県津軽海峡～山口県萩の日本海沿岸、神奈川県三



Fig. 3. *Trachipterus trachipterus*, preserved specimen, KPM-NI 52077, 22.3 mm SL. Photographed by S. Tanaka.

図 3. テンガイハタ *Trachipterus trachipterus*, 固定標本, KPM-NI 52077, 22.3 mm SL. 田中翔大撮影。



Fig. 4. *Zu cristatus*, preserved specimen, KPM-NI 51901, 11.6 mm SL. Photographed by S. Tanaka.

図 4. ユキフリソデウオ *Zu cristatus*, 固定標本, KPM-NI 51901, 11.6 mm SL. 田中翔大撮影。

崎～紀伊半島の太平洋沿岸、大阪府岸和田、大分県別府湾、東シナ海、沖縄諸島、九州一パラオ海嶺のほか (林・瀬能, 2013)、小笠原諸島 (藤井, 1984)、鹿児島県内之浦 (小枝ほか, 2015) に分布するが、琉球列島からの記録は写真資料によるもののみである (阿嘉島臨海研究所, 2012)。したがって、本標本は本種の琉球列島からの標本に基づく初記録となる。本種の詳細な形態の記載は、別途報告する予定である (Fig. 4)。

リュウグウノツカイ科 Family Regalecidae

リュウグウノツカイ *Regalecus russellii* (Cuvier, 1816)

KPM-NI 26675

備考：本標本は野生下で観察された本種の中で最小個体である (沖山・瀬能, 2014; 瀬能, 2018)。

アンコウ目 Order Lophiiformes
カエルアンコウ科 Family Autennariidae

ヒメヒラタカエルアンコウ *Antennarius randalli*
Allen, 1970
KPM-NI 51902

キンメダイ目 Order Beryciformes
イトウダイ科 Family Holocentridae

サクラエビス *Sargocentron tiereoides* (Bleeker, 1853)
KPM-NI 51903

トゲウオ目 Order Gasterosteiformes
サギフエ科 Family Macroramphosidae

ダイコクサギフエ *Macroramphosus japonicus*
(Günther, 1861)
KPM-NI 52078

備考：本標本は体側背面部の色彩が暗色であること、背鰭第2棘後縁の鋸歯が痕跡的であること、背鰭第2棘長がBL (Miyazaki *et al.*, 2004) の22.3%であり、背鰭第2棘基部・第2背鰭基部間長の94.7%であること、背鰭第2棘基部直下の体高がBLの24.6%であることにより本種と同定された (Miyazaki *et al.*, 2004)。なお、Noguchi *et al.* (2016) により本種はサギフエ *Macroramphosus sagifue* と同種の生態系とされたが、片山 (2018) は学名に関する分類学的研究が不十分なため旧来のままとしており、本稿ではこの見解に従い2種を区別した。

国内では新潟県、岩手県、相模湾～九州南岸の



Fig. 5. *Macroramphosus japonicus*, preserved specimen, KPM-NI 52078, 56.35 mm SL. Photographed by S. Tanaka.
図5. ダイコクサギフエ *Macroramphosus japonicus*, 固定標本, KPM-NI 52078, 56.35 mm SL. 田中翔大撮影。

太平洋沿岸、東シナ海大陸棚縁辺域に広く分布するが (瀬能, 2013)、琉球列島からの記録は無く、本標本は琉球列島からの初記録となる (Fig. 5)。

ヨウジウオ科 Family Syngnathidae

クチナガイシヨウジ *Corythoichthys schultzi*
Herald, 1953
KPM-NI 51904
ヨウジウオ科未同定属未同定種 *Syngnathidae*
gen. sp.
KPM-NI 26674

ボラ目 Order Mugiliformes
ボラ科 Family Mugilidae

オニボラ *Ellochelon vaigiensis* (Quoy and Gaimard, 1825)
KPM-NI 52070, 52079
タイワンメナダ *Moolgarda seheli* (Forsskal, 1775)
KPM-NI 52072

ダツ目 Order Beloniformes
サヨリ科 Family Hemiramphidae

ナンヨウサヨリ *Hemiramphus lutkei* Valenciennes, 1847
KPM-NI 51948
マルサヨリ *Hyporhamphus dussumieri* (Valenciennes, 1847)
KPM-NI 52073

ダツ科 Family Belonidae

リュウキュウダツ *Strongylura incisa* (Valenciennes, 1846)
KPM-NI 52075
オキザヨリ *Tylosurus crocodilus crocodilus*
(Péron and Lesueur, 1821)
KPM-NR 44774

スズキ目 Order Perciformes
フサカサゴ科 Family Scorpaenidae

イッテンフサカサゴ *Parascorpaena mcadamsi*
(Fowler, 1938)
KPM-NI 26667
ネッタイミノカサゴ *Pterois antennata* (Bloch, 1787)

KPM-NI 51949

マルスベカサゴ *Scorpaenopsis macrochir*
Ogliby, 1910

KPM-NI 51906

ハダカハオコゼ *Taenianotus triacanthus*
Lacepède, 1802

KPM-NI 51905

セミホウボウ科 Family Dactylopteridae

セミホウボウ *Dactyloptena orientalis* (Cuvier,
1829)

KPM-NI 51908; KPM-NR 44790

ハタ科 Family Serranidae

アオノメハタ *Cephalopholis argus* Bloch and
Schneider, 1801

KPM-NR 44767

ツチホゼリ *Epinephelus cyanopodus* (Richardson,
1846)

KPM-NR 197297

イシガキハタ *Epinephelus hexagonatus*
(Forster, 1801)

KPM-NI 51909

ヒトミハタ *Epinephelus tauvina* (Forsskål, 1775)

KPM-NI 51910

メギス科 Family Pseudochromidae

クレナイニセスズメ *Pictichromis porphyreus*
(Lubbock and Goldman, 1974)

KPM-NR 197304

セダカニセメギス *Pseudochromis fuscus* Müller
and Troschel, 1849

KPM-NI 51911

タナバタウオ科 Family Plesiopidae

アマミタナバタウオ *Plesiops verecundus* Mooi,
1995

KPM-NI 51912

テンジクダイ科 Family Apogonidae

アカフジテンジクダイ *Apogon crassiceps*
Garman, 1903

KPM-NI 51914

クロホシイシモチ *Apogon notatus* (Houttuyn,
1782)

KPM-NI 52068

シボリダマシ *Fowleria vaiulae* (Jordan and Seale,
1906)

KPM-NI 51950

ヤツトゲテンジクダイ *Neamia octospina* Smith
and Redcliffe, 1912

KPM-NI 51913

シンゲツスカシテンジクダイ *Rhabdamia
novaluna* Yoshida, Mabuchi and Motomura, 2018
KPM-NI 18687–18696備考：これらの標本は、渡井ほか（2009）により
スカシテンジクダイ *Rhabdamia gracilis* (Bleeker,
1856) として報告された。その後、Yoshida *et al.*
(2019) により、シンゲツスカシテンジクダイ *R.*
novaluna Yoshida, Mabuchi and Motomura, 2018 と
して新種記載された。

シイラ科 Family Coryphaenidae

シイラ *Coryphaena hippurus* Linnaeus, 1758
KPM-NI 51915

アジ科 Family Carangidae

クロヒラアジ *Carangoides ferdau* (Forsskål,
1775)

KPM-NR 44780

カスミアジ *Caranx melampygus* Cuvier, 1833

KPM-NI 52069; KPM-NR 44776

ツムブリ *Elagatis bipinnulata* (Quoy and
Gaimard, 1825)

KPM-NR 197272

イケカツオ *Scomberoides lysan* (Forsskål, 1775)

KPM-NR 44772

ホソヒラアジ *Selariodes leptolepis* (Cuvier, 1833)

KPM-NI 51917

カンパチ *Seriola dumerili* (Risso, 1810)

KPM-NI 51916

マルコバン *Trachinotus blochii* (Lacepède, 1801)

KPM-NI 26668

フエダイ科 Family Lutjanidae

アオチビキ *Aprion virescens* Valenciennes, 1830
KPM-NR 44766バラフエダイ *Lutianus bohar* (Forsskål, 1775)
KPM-NR 197276ニセクロホシフエダイ *Lutjanus fulviflamma*
(Forsskål, 1775)

KPM-NR 44796

イッテンフエダイ *Lutianus monostigma* (Cuvier, 1828)
KPM-NR 51918

タカサゴ科 Family Caesionidae

クマササハナムロ *Pterocaesio tile* (Cuvier, 1830)
KPM-NR 197302

クロサギ科 Family Gerreidae

ナガサギ *Gerres oblongus* Cuvier, 1830
KPM-NR 197307

イサキ科 Family Haemulidae

チョウチヨウコシヨウダイ *Plectorhinchus chaetodonoides* Lacepède, 1801
KPM-NR 197285
ヒレグロコシヨウダイ *Plectorhinchus lessonii* (Cuvier, 1830)
KPM-NR 44801

フエフキダイ科 Family Lethrinidae

シロダイ *Gymnocranius euanus* (Günther, 1879)
KPM-NR 197301
ムネアカクチビ *Lethrinus xanthochilus* Klunzinger, 1870
KPM-NR 197277
ヨコシマクロダイ *Monotaxis grandoculis* (Forsskål, 1775)
KPM-NR 197305

ヒメジ科 Family Mullidae

マルクチヒメジ *Parupeneus cyclostomus* (Lacepède, 1801)
KPM-NI 26671

チョウチヨウウオ科 Family Chaetodontidae

ミカドチョウチヨウウオ *Chaetodon baronessa* Cuvier, 1829
KPM-NI 51951
シチセンチョウチヨウウオ *Chaetodon punctatofasciatus* Cuvier, 1831
KPM-NR 44786
ハクテンカタギ *Chaetodon reticulatus* Cuvier, 1831

KPM-NR 44797

スダレチョウチヨウウオ *Chaetodon ulietensis* Cuvier, 1831
KPM-NR 197286
イッテンチョウチヨウウオ *Chaetodon unimaculatus* Bloch, 1787
KPM-NR 197310

キンチャクダイ科 Family Pomacanthidae

ロクセンヤッコ *Pomacanthus sexstriatus* (Cuvier, 1831)
KPM-NR 197308

ゴンベ科 Family Cirrhitidae

ヒメゴンベ *Cirrhitichthys oxycephalus* (Bleeker, 1855)
KPM-NI 26670

スズメダイ科 Family Pomacentridae

アツクチスズメダイ *Cheiloprion labiatus* (Day, 1877)
KPM-NI 51954
マルスズメダイ *Chromis ovatiformis* Fowler, 1946
KPM-NR 197288
ヒメスズメダイ *Chromis vanderbilti* (Fowler, 1941)
KPM-NR 197287
モンズズメダイ *Chromis xanthurus* (Bleeker, 1854)
KPM-NR 197289
ミヤコキセンズズメダイ *Chrysiptera brownriggi* (Bennett, 1828)
KPM-NI 51953
イワサキスズメダイ *Plectroglyphidodon imparipennis* (Vaillant and Sauvage, 1875)
KPM-NI 51952
ミナミイソスズメダイ *Pomacentrus* sp.
KPM-NI 26669
オキナワスズメダイ *Pomachromis richardsoni* (Snyder, 1909)
KPM-NR 197290

シマイサキ科 Family Terapontoidei

コトヒキ *Terapon jarbua* (Forsskål, 1775)
KPM-NI 52071



Fig. 6. *Nomeus gronovii*, preserved specimen, KPM-NI 51919, 9.9 mm SL. Photographed by S. Tanaka.

図 6. エボシダイ *Nomeus gronovii*, 固定標本, KPM-NI 51919, 9.9 mm SL. 田中翔大撮影.

エボシダイ科 Family Nomeidae

エボシダイ *Nomeus gronovii* (Gmelin, 1789)

KPM-NI 51919

備考：国内では小笠原諸島、福島県小名浜、千葉県銚子～土佐湾の太平洋沖、長崎県野母崎のほか（中坊・土井内, 2013）、鹿児島県薩摩半島西岸（畑ほか, 2017）に分布するが、琉球列島からの記録は無い。したがって、本標本は琉球列島からの初記録となる（Fig. 6）。

ベラ科 Family Labridae

クロヘリイトヒキベラ *Cirrhilabrus cyanopleura* (Bleeker, 1851)

KPM-NR 44781

スジベラ *Coris dorsomacula* Fowler, 1908

KPM-NI 51921

カザリキュウセン *Halichoeres melanurus* (Bleeker, 1851)

KPM-NI 52080; KPM-NR 44775

ムナテンベラダマシ *Halichoeres prosopion* (Bleeker, 1853)

KPM-NI 51920

シロタスキベラ *Hologymnosus doliatus* (Lacepède, 1801)

KPM-NI 51961

セジロノドグロベラ *Macropharyngodon negrosensis* Herre, 1932

KPM-NR 197291

タコベラ *Oxycheilinus bimaculatus* (Valenciennes, 1840)

KPM-NR 44792

リュウグウベラ *Thalassoma trilobatum*

(Lacepède, 1801)

KPM-NR 44784

ブダイ科 Family Scaridae

タイワンブダイ *Calotomus carolinus* (Valenciennes, 1840)

KPM-NR 44791

アミメブダイ *Scarus frenatus* Lacepède, 1802

KPM-NR 44771

ヒメブダイ *Scarus oviceps* Valenciennes, 1840

KPM-NR 44800

オビブダイ *Scarus schlegeli* (Bleeker, 1861)

KPM-NR 197273

シロオビブダイ *Scarus spinus* (Kner, 1868)

KPM-NR 44787

アオブダイ属未同定種 *Scarus* sp.

KPM-NI 29323

トラギス科 Family Pinguipedidae

マダラトラギス *Parapercis tetracantha* (Lacepède, 1801)

KPM-NR 197278

トビギンポ科 Family Creediidae

ミナミトビギンポ *Limnichthys nitidus* Smith, 1958

KPM-NI 51957

サンゴトビギンポ *Limnichthys orientalis* Yoshino, Kon and Okabe, 1999

KPM-NI 51923

イソギンポ科 Family Blenniidae

タマカエルウオ *Alticus saliens* (Lacepède, 1800)

KPM-NI 51928

エリグロギンポ *Crossosalarias macrospilus* Smith-Vaniz and Springer, 1971

KPM-NI 51927

ミナミギンポ *Plagiotremus rhinorhynchus* (Bleeker, 1852)

KPM-NI 51929

ハゼ科 Family Gobiidae

サラサハゼ *Amblygobius phalaena* (Valenciennes, 1837)

KPM-NI 29325; KPM-NR 44783
 ヒメダテハゼ *Amblyeleotris steinitzi* (Klausewitz, 1974)
 KPM-NR 197279
 クビアカハゼ *Amblyeleotris wheeleri* (Polunin and Lubbock, 1977)
 KPM-NR 44779
 シロオビハゼ *Cryptocentrus albidorsus* (Yanagisawa, 1978)
 KPM-NR 197293
 クロホシハゼ *Cryptocentrus nigrocellatus* (Yanagisawa, 1978)
 KPM-NR 197294
 シマミドリハゼ *Eviota afelei* Jordan and Seale, 1906
 KPM-NI 51938
 シズクイソハゼ *Eviota flebilis* Greenfield, Suzuki and Shibukawa, 2014
 KPM-NI 51940
 マメイソハゼ *Eviota herrei* Jordan and Seale, 1906
 KPM-NI 22176
 アカホシイソハゼ *Eviota melisma* Lachner and Karnella, 1980
 KPM-NI 51939
 イソハゼ属の一種 -9 *Eviota* sp. 9
 KPM-NI 51941
 セアカコバンハゼ *Gobiodon axillaris* De Vis, 1884
 KPM-NI 51931
 アイコバンハゼ *Gobiodon micropus* Günther, 1861
 KPM-NI 51933
 アカテンコバンハゼ *Gobiodon* sp. 1
 KPM-NR 197292
 イレズミコバンハゼ *Gobiodon* sp. 2
 KPM-NI 51932
 フタスジコバンハゼ *Gobiodon* sp. 4
 KPM-NI 51934
 ホシカザリハゼ *Istigobius decorates* (Herre, 1927)
 KPM-NI 51936
 ハダカハゼ *Kelloggella quindecimfasciata* (Fowler, 1946)
 KPM-NI 52074
 ハシブトウミタケハゼ *Pleurosicya fringilla* Larson, 1990
 KPM-NI 22229
 パンダダルマハゼ *Paragobiodon lacunicolus* (Kendall and Goldsborough, 1911)
 KPM-NR 197303
 セボシウミタケハゼ *Pleurosicya mossambica*

Smith, 1959
 KPM-NI 51935
 ベニハゼ *Trimma caesiura* Jordan and Seale, 1906
 KPM-NR 197299
 チゴベニハゼ *Trimma naudei* Smith, 1957
 KPM-NR 197298
 オキナワベニハゼ *Trimma okinawae* (Aoyagi, 1949)
 KPM-NR 197295

スナハゼ科 Family Kraemeriidae

リュウキュウナミノコハゼ *Kraemeria tongaensis* Rofen, 1958
 KPM-NI 26676

クロユリハゼ科 Family Ptereleotridae

オグロクロユリハゼ *Ptereleotris heteroptera* (Bleeker, 1855)
 KPM-NR 197280
 イトマンクロユリハゼ *Ptereleotris microlepis* (Bleeker, 1856)
 KPM-NR 197296
 ゼブラハゼ *Ptereleotris zebra* (Fowler, 1938)
 KPM-NR 197306

アイゴ科 Family Siganidae

サンゴアイゴ *Siganus corallinus* (Valenciennes, 1835)
 KPM-NR 44785
 ゴマアイゴ *Siganus guttatus* (Bloch, 1787)
 KPM-NR 197274
 マジリアイゴ *Siganus puellus* (Schlegel, 1852)
 KPM-NR 197281

ニザダイ科 Family Acanthuridae

コクテンサザナミハギ *Ctenochaetus binotatus* Randall, 1955
 KPM-NR 197282
 トサカハギ *Naso tonganus* (Valenciennes, 1835)
 KPM-NR 44794

カレイ目 Order Pleuronectiformes

ダルマガレイ科 Family Bothidae

タイコウボウダルマ *Asterorhombus cocosensis* (Bleeker, 1855)

KPM-NI 51942

フグ目 Order Tetraodontiformes
モンガラカワハギ科 Family Balistidae

クロモンガラ *Melichthys vidua* (Richardson, 1845)

KPM-NI 51944, 51958

アカモンガラ *Odonus niger* (Ruppell, 1836)

KPM-NR 44770

キヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus*
(Ruppell, 1829)

KPM-NI 51943; KPM-NR 44778

イソモンガラ *Pseudobalistes fuscus* (Bloch and
Schneider, 1801)

KPM-NI 51945

タスキモンガラ *Rhinecanthus rectangulus*
(Bloch and Schneider, 1801)

KPM-NI 51959

カワハギ科 Family Monacanthidae

メガネウマヅラハギ *Cantherhines fronticinctus*
(Günther, 1867)

KPM-NI 51946

ノコギリハギ *Paraluteres prionurus* (Bleeker,
1851)

KPM-NI 51960

フグ科 Family Tetraodontidae

シボリキンチャクフグ *Canthigaster janthinoptera*
(Bleeker, 1855)

KPM-NR 197283

ハリセンボン科 Family Diodontidae

ネズミフグ *Diodon hystrix* Linnaeus, 1758

KPM-NR 197283

補足

カエルアンコウ属の一種 1 *Antennarius* sp. 1

KPM-NI 22113

本標本は、渡井ほか (2009) でイロカエルアンコウ *Antennarius pictus* として報告されたものである。Pietsch & Grobecker (1987) に従うと、吻上棘基底が上顎縫合部より前方へ張り出すことにより *A. striatus* Group に含まれる。*A. striatus* Group にはカエルアンコウ *A. striatus*、ボンボリカエルアンコウ *A. hispidus*、*A. indicus* の3種が含まれ (Pietsch & Grobecker, 1987; Arnold &

Pietsch, 2012)、カエルアンコウとは吻上棘先端の皮弁が細長い円筒形でないこと、ボンボリカエルアンコウとは吻上棘先端の皮弁がひとかたまりの羽毛状を呈さないことにより区別される。一方、*A. indicus* とは吻上棘先端の皮弁が扁平で葉片状であること、体色が無地であることなど一致する点が多い。しかしながら、この標本は幼魚であると考えられることから、同定は将来の検討に待ち、本稿ではカエルアンコウ属の一種 1 として扱った。

ミミトゲオニカサゴ *Scorpaenopsis possi* Randall
and Eschmeyer, 2002

KPM-NI 16858

本標本は、渡井ほか (2009) でウルマカサゴ *Scorpaenopsis papuensis* として報告されたが、本種と再同定された。

チブルネッタイフサカサゴ *Parascorpaena aurita*
(Ruppell, 1838)

KPM-NI 16846, 16855, 16861, 16863

本種は、渡井ほか (2009) でネッタイフサカサゴ属の1種 *Parascorpaena* sp. として報告されたが、その後、Motomura *et al.* (2009) によって標準和名が与えられた。

カスリフサカサゴ *Sebastapistes cyanostigma*
(Bleeker, 1856)

KPM-NI 51907

本種は、渡井ほか (2009) で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

シテンヤッコ *Apolemichthys trimaculatus*
(Cuvier, 1831)

KPM-NI 52076

本種は、渡井ほか (2009) で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

アサドスズメダイ *Pomacentrus lepidogenys*
Fowler and Bean, 1928

KPM-NI 51955

本種は、渡井ほか (2009) で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

クロメガネスズメダイ *Pomacentrus vaiuli*
Jordan and Seale, 1906

KPM-NI 51956; KPM-NR 43370

本種は、渡井ほか（2009）で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

ナンヨウブダイ *Chlorurus microrhinos* (Bleeker, 1854)

KPM-NI 51922; KPM-NR 43374

本種は、渡井ほか（2009）で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

タテガミカエルウオ *Cirripectes castaneus* (Valenciennes, 1836)

KPM-NI 51924, 51925; KPM-NR 43390

本種は、渡井ほか（2009）で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

アミメミノカエルウオ *Cirripectes imitator* Williams, 1985

KPM-NI 51926; KPM-NR 43391–43392

本種は、渡井ほか（2009）で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

ハリセンボン *Diodon holocanthus* Linnaeus, 1758

KPM-NI 51947

本種は、渡井ほか（2009）で水中写真に基づき報告されたが、新たに標本が得られたため、追加報告する。

謝 辞

照屋藍連氏を始めとする国立沖縄青少年の家職員の皆様、慶良間自然保護官事務所、渡嘉敷島警察署、村役場および漁協の方々は本研究に理解を示し、現地での標本採集にご協力してくださった。佐々木風哉氏を始めとする東京海洋大学水産生物研究会の皆様、当研究会顧問の土屋光太郎准教授には、現地での標本採集や同定、標本作成等、多岐にわたりご協力していただいた。当研究会 OB・OG の方々には、標本、画像の提供の他、多くの有益な情報を賜った。鹿児島大学大学院連合農学研究科の和田英敏氏には、*Uropterygius cf. polyspilus* の同定に関して、ご教示いただいた。ふじのくに地球環境史ミュージアムの渋谷浩一教授には文献を提供していただいた。神奈川県立生命の星・地球博物館ボランティアの皆様には、標本登録や収蔵作業において、多大なご協力を賜った。以上の皆様に、この場を借りて篤く御礼申し上げる。

引用文献

- 阿嘉島臨海研究所, 2012. 深海からの訪問者－フリソデウオの仲間－. アムスルだより, (113): 1–2.
- Arnold, R.J. & T.W. Pietsch, 2012. Evolutionary history of frogfishes (Teleostei: Lophiiformes: Antennariidae): a molecular approach. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, **62**: 117–129.
- 藤井栄一, 1984. フリソデウオ科. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編, 日本産魚類大図鑑, pp. 114–115, pl. 101. 東海大学出版会, 東京.
- Greenfield, D.W., T. Suzuki & K. Shibukawa, 2014. Two new dwarfgobies of the genus *Eviota* from the Ryukyu Islands, Japan (Teleostei: Gobiidae). *Zootaxa*, **3774**(5): 481–488.
- 畑 晴陵・伊東正英・本村浩之, 2017. 鹿児島県から得られたエボシダイ科魚類エボシダイ. *Nature of Kagoshima*, (43): 193–196.
- 林 公義・瀬能 宏, 2013. フリソデウオ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 477–479, 1865–1866. 東海大学出版会, 秦野.
- 環境省, 2014. 慶良間国立公園指定書及び計画書. 56 pp. 環境省, 東京.
- 片山英里, 2018. サギフエ科. 中坊徹次編, 小学館の図鑑 Z. 日本魚類館, p. 186. 小学館, 東京.
- 小枝圭太・畑 晴陵・本村浩之, 2015. 鹿児島県内之浦湾から得られたユキフリソデウオ *Zu cristatus*. *Nature of Kagoshima*, (41): 31–35.
- 松沼瑞樹・瀬能 宏・本村浩之, 2013. 琉球列島から得られた日本初記録のヨウジウオ科ヒメトゲウミヤッコ (新称) *Halicampus spinirostris*. *魚類学雑誌*, **60**(2): 157–161.
- Miyazaki, E., K. Sasaki, T. Mitani, M. Ishida & S. Uehara, 2004. The occurrence of two species of *Macroramphosus* (Gasterosteiformes: Macroramphosidae) in Japan: morphological and ecological observations on larvae, juveniles, and adults. *Ichthyological Research*, **51**: 252–262.
- Motomura, H., Y. Sakurai, H. Senou & H.C. Ho, 2009. Morphological comparisons of the Indo-West Pacific scorpionfish, *Parascorpaena aurita*, with a closely related species, *P. picta*, with first record of *P. aurita* from East Asia (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). *Zootaxa*, **2191**(4): 41–57.
- 中坊徹次編, 2013. 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版. i-1+1–864, i-xxxii+865–1748, i-xvi+1749–2428pp. 東海大出版会, 秦野.
- 中坊徹次・土居内 龍, 2013. エボシダイ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 1081–1083, 2041–2042. 東海大学出版会, 秦野.
- 日本魚類学会, 2014. 日本産魚類の追加種リスト. 日本魚類学会. Online. Available from internet: http://www.fish-isj.jp/info/list_additon.html (posted on 2014-03-10 by the author).
- Noguchi, T., T. Kitahashi, G. Shinohara, J. Hashimoto & S. Kojima, 2016. Morphological differences among snipefishes (Macroramphosidae: *Macroramphosus*) from the Pacific and Atlantic oceans. *Plankton Benthos*

- Research, **11**(4): 147–150.
- 岡村 収, 1974. 慶良間諸島および八重山諸島海中公園候補地区の魚類. 財団法人海中公園センター編, 沖縄県慶良間列島および八重山諸島の海中公園基本調査および公園計画調査報告書, pp. 13–35. 沖縄県.
- 沖山宗雄・瀬能 宏, 2014. リュウグウノツカイ科. 沖山宗雄編, 日本産稚魚図鑑. 第二版, pp. 392–393. 東海大出版会, 秦野.
- Pietsch, T. W. & D.B. Grobecker, 1987. Frogfishes of the world: systematics, zoogeography, and behavioral ecology. xxii+420pp. Stanford University Press, Stanford, California.
- Sasaki, D. & S. Kimura, 2014. Taxonomic review of the genus *Hypoatherina* Schultz 1948 (Atheriniformes: Atherinidae). Ichthyological Research, **61**(3): 207–241.
- 瀬能 宏, 2013. サギフエ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定. 第三版, pp. 610, 1907–1908. 東海大学出版会, 秦野.
- 瀬能 宏, 2018. リュウグウノツカイ科. 中坊徹次編, 小学館の図鑑Z 日本魚類館, p. 155. 小学館, 東京.
- Senou, H., H. Kodato, T. Nomura & K. Yunokawa, 2006. Coastal fishes of Ie-jima Island, the Ryukyu Islands, Okinawa, Japan. Bulletin of Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science), (35): 67–92.
- 島田和彦, 1996. 水中ビデオによる屋嘉比島周辺海域の魚類相調査. みどりいし, (7): 12–16.
- 鈴木寿之・渋川浩一, 2004. イソハゼ属の1種 -9. 瀬能宏監修, 決定版日本のハゼ, p. 149. 平凡社, 東京.
- 鈴木寿之・渋川浩一・I-S. Chen・矢野維幾・千葉 悟・内野啓道・高瀬 歩・瀬能 宏, 2015. 琉球列島から得られた日本初記録のハゼ亜目魚類8種. Fauna Ryukyuana, (18): 9–38.
- 田村 剛・斉藤一雄, 1974. 慶良間諸島および八重山群島石西礁湖. 財団法人海中公園センター編, 沖縄県慶良間列島および八重山諸島の海中公園基本調査および公園計画調査報告書, pp. 107–120. 沖縄県.
- 和田英敏・本村浩之, 2019. モヨウキカイウツボの奄美群島からの初めての記録, 本種の国内における分布記録の再検討, および水中写真に基づく *Uropterygius cf. polyspilus* の記録. Nature of Kagoshima, (45): 385–390.
- 渡井幹雄・宮崎佑介・村瀬敦宣・瀬能 宏, 2009. 慶良間諸島渡嘉敷島渡嘉志久湾の魚類相. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (38): 119–132.
- Yoshida, T., K. Mabuchi, & H. Motomura, 2019. *Rhabdamia novaluna*, a new species of cardinalfish (Perciformes: Apogonidae) from the western Pacific Ocean, with comments on the synonymy of *Rhabdamia gracilis*. Ichthyological research, **66**(1): 129–139.